

○議長（杉田雅史君） これより、村政一般に対する質問並びに提出案件に対する質疑を行います。

通告順に発言を許します。

5番 森 弘秋君。

○5番（森 弘秋君） おはようございます。私からは、高齢者の健康増進、活気あふれる生活のエンジョイについて質問いたします。

新型コロナ感染症もようやく落ち着いたと思われませんが、油断は禁物であります。第6波がささやかれております。お互いに気をつけたいものです。

さて、少子高齢化問題が昨今特に問われておりますが、団塊の世代が二、三年後には75歳以上の高齢を迎えます。1947年から1949年に生まれた人口は、このまま進行すれば後期高齢者へと増える中、この人たちの健康を維持しなければならないとするのが質問の趣旨であります。

それでは、人口の推移を少し述べてみましょう。

先日、2020年国勢調査の確定値が発表されました。総人口1億2,614万6,099人、前回調査から94万8,646人減少、65歳以上の高齢化率は28.6%と発表されました。

富山県の人口は103万4,814人、3万1,514人減少。65歳以上の高齢化率は32.6%となったと発表されました。

しかし、今年の敬老の日に総務省が発表した人口推計によれば、65歳以上の高齢者は前年より22万人増え、3,640万人。総人口に占める割合は29.1%となり、過去最高を更新しております。

総人口の29%を占める。男子が1,583万人、女子が2,057万人。年齢別では、団塊の世代を含む70歳以上が1,880万人、80歳以上が1,206万人。世界のトップクラスで第2次ベビーブームの世代が65歳以上になる2040年には何と35.3%になり、人口の3分の1が高齢者となる見込みであると言っております。

富山県の人口動態は、2015年には、65歳から70歳の人口は約9万4,000人、70歳から74歳の人口は約7万2,000人、75歳以上の人口が約16万人、2020年には、65歳から70歳の人口は約7万2,000人、70歳から74歳の人口は約8万9,000人、75歳以上の人口が約17万6,000人、2025年には、65歳から70歳の人口は約6万人、70歳から74歳の人口は約6万8,000

人、75歳以上の人口が約20万5,000人。少し飛びますが、2035年になりますと、65歳から70歳の人口は約6万4,000人、70歳から74歳の人口は約5万7,000人、75歳以上の人口が約20万1,000人であります。

数字を並べましたが、注目すべきところは、生産年齢人口（20歳から64歳まで）が、2015年には約55万7,000人、2035年には約46万3,000人となり、83%に落ち込むと推計しております。

そこで、県へ行って調べましたが、富山県は何を考えたか。舟橋村も同様に考えればと思いますが、富山県の現状は、このままいけば、65歳以上の人口が、2035年には32万2,000人と、人口比34%が高齢者になると推計されております。

加速度的に高齢者人口が進む中で、現役世代及び高齢者世代は何をなすべきか。何をなさねばならないか。すなわち、健康で働く体制の維持であります。

生産年齢人口の減少、65歳未満の人口の減少であります。このことから、富山県は生産年齢を74歳までとして、元気で働かねばならない。働くことを考えたわけであります。

生産年齢人口を74歳まで引き上げたときのシミュレーションを考えました。すると、20歳から74歳までの人口は58万4,000人とはじきました。約104.8%、大幅に増えるわけですね。また、人口比は約62%の人口が生産年齢人口となります。したがって、75歳まで元気で頑張らねばならない。頑張ってもらわねばなりません。

一方、舟橋村の高齢化現象は、先日、村民大会、テトラで発表があったように、舟橋村の総人口は、2010年で2,967人、2020年が3,173人、2030年が2,832人、2040年になると2,704人と、2020年をピークに減少をたどります。

生産年齢人口を見ると、2020年には現役世代が多いのですが、2030年、2040年になると、徐々に生産年齢人口が少なくなってくるのです。これは当たり前の現象ですね。

これは第2期舟橋村の人口ビジョンからも言えますが、総人口は2020年には3,105人、2025年には3,054人、2030年になりますと、3,000人を割って2,995人となります。2065年には2,267人と激減するという人口推計が出ています。

現在の舟橋村の高齢化率は、65歳以上の人口は約20%であります。高齢者の人

口の変動を見ても、高齢者は増えることは目に見えています。

そこで、頑張るためには、健康を維持し、そのためには趣味を持ち、体を動かすことが大事であります。そのための施設整備を、例えば、屋外では、オレンジパークの近くにパークゴルフ場、室内では、小学校・中学校体育館に次ぐ「第3体育館」と称し、カローリング練習等々の多目的ホールを整備し、高齢者を問わず、村民が自由に使える施設となり、健康維持、もしくは健康アップにつながります。地方創生事業として位置づけし、県、国の補助金を求めましょう。

ちょっと大げさですが、「ローマは一日にして成らず」です。四、五年の年次計画で整備し、現実化しましょう。

現在において、遊歩道は完成済みです。憩いの公園も完成済みです。とかく舟橋村は高齢者に対するサービスが悪いという意見が多く聞かれます。体を鍛えるためのスポーツクラブなどを結成し、〇〇クラブ村長杯なども実現し、村民に活気を与え、日本一小さな舟橋村を羨ましがられる村となるよう提案するものです。

話は違いますが、先日、読売新聞の「地域力」欄に、富山版にも掲載されておりましたが、何と東京版にも「最小の村「もうかる農業」」と題し、「ハートかぼちや 手応え」と掲載されていました。トマト農園も掲載。すばらしいじゃありませんか。私は何でもやればできるんだというふうに思います。

最後に、舟橋村第2期人口ビジョンに掲載されている、村に転入された方の意見で、楽しく、うれしい意見がありました。紹介します。

道を歩いている、図書館などで会っても、「何歳」と声をかけてくれるおばあちゃんたちがいる。そういう近所の大人の目があると思うと安心です。

そのおばあちゃんたちをもっともっと元気にしましょうよ。すばらしいではありませんか。まさにコミュニティの始まり。高齢者には、まだまだ元気でいてもらわねばなりません。そのための施設整備を村長の英断でお願いいたします。

「高齢者が生き生きと生活できる舟橋村」「老若男女が集い会う舟橋村」。村長の今後の考える村のあるべき姿をお聞かせ願います。

終わります。

○議長（杉田雅史君） 村長 古越邦男君。

○村長（古越邦男君） 5番森議員さんのご質問にお答えいたします。

高齢者の健康維持増進のために、舟橋村地域包括支援センターを中心に様々な事業を

行っております。

まずは介護予防事業として、人との交流などを目的とした通いの場を増やし、個人の目的に合わせ、通えるようにしております。転倒予防のための体力の維持や筋力アップを目的とした運動などができるところとしての百歳体操、人と交流しながら脳の刺激にもなる買物ができるところとして「とくし丸」といった場の設定を、従来の行政主導ではなく、住民や民間事業所が主導して行っております。

また、年1回夏に65歳以上の要介護認定を受けておられない方を対象におたっしゅチェックリストを郵送し、返信されたものを点数化し、基準該当となった方には舟橋村地域包括支援センターから訪問等により詳細を確認させていただき、希望された方にはサービスの紹介を行っております。

さらに、11月から3か月間実施する介護予防教室「足腰しっかり教室」に参加される方もおられます。月1回すまいる広場を開催し、運動や脳トレ等、楽しみながら活動の場を設けています。各地区のサロンなどでも、希望に合わせ、健康講座や季節の行事などを行っております。

また、新たな生活様式に合わせた活動を行うため、ICT化の第一歩として、来年1月に高齢者向けのスマホ教室を試験的に実施する予定にしております。スマホを使えるようになることで、感染対策に留意した交流や運動教室参加の可能性が広がることを目指しております。

疾病予防のためには、健診の受診勧奨のほか、健診後の結果を受けて、訪問などにより個別対応で健康相談などを行っております。

現在、舟橋村ではウォーキングコースがございます。村民の健康を目的に4つのコースを設定し、ウォーキングマップも作成しております。春から秋にかけて多くの方にご活用いただいております。

議員ご指摘のありましたパークゴルフ場の整備につきましては、近隣には水橋地区に、そして上市町、立山町にもありますので、そちらをご利用いただければ、交流の場ももっと広がるものと思っております。

今後も、団塊の世代の方が後期高齢者の年齢に達する2025年問題等を踏まえ、高齢者の健康増進に向けて、関係機関と連携を図り、元気あふれる舟橋村づくりを進めてまいります。議員のご理解を賜りますようお願い申し上げて、答弁とさせていただきます。

○議長（杉田雅史君） 森 弘秋君。

○5番（森 弘秋君） パークゴルフ場については、他の市町を利用せいと。誠に結構だと思いますが、やはり身近にあれば誰でも行ける。それから、運動できる状態が、私としては、もう少し足りんじゃないかというふうに思います。

いずれにしましても、舟橋村のホームページに、村長は、高齢者の幅広いニーズに対応すると言っておられます。今後もよろしくお願いします。

○議長（杉田雅史君） 村長 古越邦男君。

○村長（古越邦男君） 森議員さんのご要望は十分理解できますが、パークゴルフ場につきましては、広い用地が必要、あるいは資金面等を考えますと、現実ではなかなか難しい。

ただ、やはり高齢者の方々への配慮というのはこれからも必要だというふうに思っておりますので、年次、考えていきたいというふうに思いますので、よろしくお願いをいたします。